



当社は、H S 財団動物実験認証施設です

感染試験のご紹介

NBRとして感染試験を開始して8年が経過しました。この間に実施した試験数は150試験を超えました。また、取り扱える病原体を徐々に増やし、新しい試験にもチャレンジしてきました。感染試験のご希望がございましたらお問い合わせ下さい。これまでの経験を活かし、ご提案させていただきます。

ヘルペスウイルス感染マウス神経痛モデル(単回投与)

【使用ウイルス株】

Human herpesvirus1(strain F、ATCC VR-733)

【動物種】 マウス

【系統】 BALB/c 系 (BALB/c Cr Slc)

【評価時期】 ウイルス接種後10日

【疼痛評価】 von Frey test

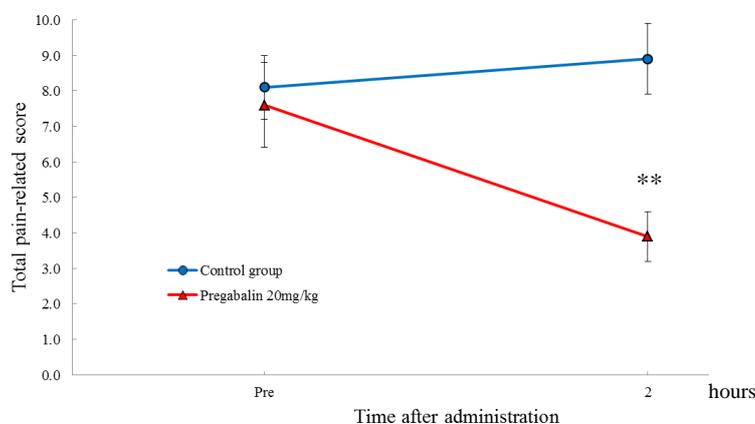


Fig. 1. Effects of pregabalin on allodynia in mice inoculated with herpes simplex virus. Significantly different from the control group (**: p<0.01 by Wilcoxon's test).

感染試験実績

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
安全性試験	易感染試験			1	5	3
	MRSA	2		2	1	1
薬理試験	vitro	2		3		2
	インフルエンザ	6	8	4	4	5
	カンジダ		1			
	サルモネラ菌		2	1	1	1
	ピロリ菌			2	1	
	ヘルペスウイルス	2		1	1	1
	ロタウィルス	2	2	1	2	
	多剤耐性緑膿菌	1			1	
	感染癒着防止試験	1	1			1
	感染試験その他		4	2	7	5
	抗菌作用試験		1	1		
	白癬菌		1	1	1	
	黄色ブドウ球菌		3	3		
			16	23	22	24

試験施設：(株)日本バイオリサーチセンター 木曽三川分室(レベル：BSL)

特長：感染試験専用の単独施設です。信頼性基準の試験が可能です。

<呼吸器感染>

病原体	動物種	評価項目
インフルエンザウイルス(気道感染)	マウス	一般状態、肺のウイルス量、NK活性、生存率
インフルエンザウイルス(空気感染)	マウス、モルモット	一般状態、肺のウイルス量

<消化器感染>

病原体	動物種	評価項目
ロタウイルス	マウス(仔)	下痢症状、ウイルス量(糞便中)
Helicobacter pylori(ピロリ菌)	マウス	生菌数(胃内)
サルモネラ菌	マウス	生菌数(脾臓)
Clostridium difficile	ハムスター	生存率、病変度観察、下痢症状

<皮膚感染>

病原体	動物種	評価項目
黄色ブドウ球菌	マウス	病変度観察、生菌数(皮膚)
ヘルペスウイルス	マウス	病変度観察
白癬菌	モルモット	病変度観察、生菌数(皮膚)

<全身感染>

病原体	動物種	評価項目
MRSA	マウス	生存率、生菌数
カンジダ	マウス	生存率、生菌数
肺炎球菌	マウス	生存率、生菌数
耐性緑膿菌	マウス	生存率、生菌数

< vitro >

- ・抗菌作用試験
- ・抗ウイルス試験
- ・抗生物質感受性試験
- ・人工プラーク付着性試験
- etc



<病原体>

ウイルス	細菌	真菌
インフルエンザ	黄色ブドウ球菌・MRSA	カンジダ
ヘルペス	肺炎球菌	白癬菌
ロタ	緑膿菌・耐性緑膿菌	
ノロ	サルモネラ菌	
ネコカリシ	ミュータンス菌	